

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年10月30日

上場会社名 株式会社北弘電社
 コード番号 1734 URL <http://www.kitakoudensha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 中野 章
 (氏名) 鈴木 克敏
 配当支払開始予定日 未定

TEL 011-640-2232

上場取引所 札

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	3,780	3.9	△50	—	△38	—	△47	—
20年3月期第2四半期	3,640	△29.2	△199	—	△187	—	△189	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△7.26	—
20年3月期第2四半期	△29.18	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第2四半期	6,390		3,364		52.6		519.21	
20年3月期	6,531		3,431		52.5		529.25	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 3,364百万円 20年3月期 3,431百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無
 平成21年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	16.3	3	△92.9	19	△71.2	10	△84.7	1.54

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

[注]詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表】「4. その他」をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 6,500,000株 20年3月期 6,500,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 20,515株 20年3月期 16,725株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 6,481,890株 20年3月期第2四半期 6,485,487株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、これらの予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、2ページ【定性的情報・財務諸表】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における北海道経済は、民間設備投資はエネルギー関連投資が下支えしているものの、公共投資の減少、住宅着工の低迷、個人消費の不振と景気は停滞し経営環境は厳しい状況であります。

このような厳しい環境のもと、当社は、組織的な営業活動を展開し受注の確保に努めた結果、当第2四半期累計期間における受注高は7,366百万円(前年同期比29.9%増)、売上高は3,780百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

損益につきましては、きめ細かな原価管理による原価低減及び費用の削減等に努力しておりますが、例年下半期後半に竣工する工事が大半を占め、売上高は下半期に偏る傾向にあることから、経常損益は38百万円(前年同期比149百万円改善)の損失、四半期純損益は47百万円(前年同期比142百万円改善)の損失となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

資産・負債・純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ140百万円減少の6,390百万円となりました。主な増減は、未成工事支出金873百万円及び現金及び預金484百万円等は増加となりましたが、売掛債権1,216百万円及び有価証券200百万円等は減少となりました。

負債合計は、前事業年度末に比べ73百万円減少の3,026百万円となりました。主な増減は、未成工事受入金444百万円等は増加となりましたが、買掛債務493百万円等は減少となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ67百万円減少の3,364百万円となり、この結果、自己資本比率は52.6%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間については、10月15日に業績予想修正を提出しており、売上高は微増でありましたが、営業損失、経常損失、四半期純損失ともに大きく改善となりました。

通期の業績予想につきましては、受注高は良好に推移しておりますが、金融危機等により先行きの経営環境が不透明な状況であり、現段階では平成20年5月13日に発表しました業績予想数値に変更はございません。

4. その他

四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(1) 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,193,300	709,128
受取手形及び売掛金	519,736	752,737
完成工事未収入金	1,582,990	2,566,194
有価証券	0	200,000
商品	35,226	31,184
未成工事支出金	1,279,253	405,479
その他	159,315	186,054
貸倒引当金	△3,810	△4,486
流動資産合計	4,766,012	4,846,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	718,025	734,433
その他	483,933	489,396
有形固定資産合計	1,201,959	1,223,830
無形固定資産		
3,066	3,066	3,669
投資その他の資産		
投資有価証券	319,458	341,088
その他	113,950	123,714
貸倒引当金	△13,483	△6,676
投資その他の資産合計	419,926	458,127
固定資産合計	1,624,951	1,685,627
資産合計	6,390,964	6,531,919

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	781,657	1,354,175
工事未払金	427,069	348,393
未払法人税等	8,498	13,421
未成工事受入金	713,389	269,340
賞与引当金	101,758	90,953
工事損失引当金	4,500	7,261
その他	142,884	152,406
流動負債合計	2,179,758	2,235,951
固定負債		
退職給付引当金	810,781	819,912
役員退職慰労引当金	24,292	19,738
環境対策引当金	7,817	7,817
繰延税金負債	4,121	17,205
固定負債合計	847,012	864,673
負債合計	3,026,771	3,100,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,687	840,687
資本剰余金	687,108	687,108
利益剰余金	1,818,638	1,865,680
自己株式	△3,387	△2,960
株主資本合計	3,343,045	3,390,514
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,147	40,780
評価・換算差額等合計	21,147	40,780
純資産合計	3,364,193	3,431,294
負債純資産合計	6,390,964	6,531,919

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	
完成工事高	2,804,894
商品売上高	976,071
売上高	3,780,965
売上原価	
完成工事原価	2,511,600
商品売上原価	880,155
売上原価	3,391,756
売上総利益	
完成工事総利益	293,293
商品売上総利益	95,916
売上総利益	389,209
販売費及び一般管理費	439,808
営業損失(△)	△50,598
営業外収益	
受取利息	1,965
受取配当金	5,214
その他	5,190
営業外収益	12,371
営業外費用	
その他	88
営業外費用	88
経常損失(△)	△38,315
特別利益	
貸倒引当金戻入額	676
特別利益	676
特別損失	
固定資産除却損	227
貸倒引当金繰入額	4,725
特別損失	4,952
税引前四半期純損失(△)	△42,592
法人税、住民税及び事業税	4,449
四半期純損失(△)	△47,041

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	
完成工事高	1,790,890
商品売上高	508,388
売上高	2,299,279
売上原価	
完成工事原価	1,570,299
商品売上原価	450,905
売上原価	2,021,205
売上総利益	
完成工事総利益	220,590
商品売上総利益	57,483
売上総利益	278,074
販売費及び一般管理費	216,951
営業利益	61,122
営業外収益	
受取利息	1,382
受取配当金	971
その他	2,426
営業外収益	4,780
営業外費用	
その他	60
営業外費用	60
経常利益	65,843
特別損失	
貸倒引当金繰入額	4,725
特別損失	4,725
税引前四半期純利益	61,118
法人税、住民税及び事業税	2,224
四半期純利益	58,893

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

前四半期にかかる財務諸表

(要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第2四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金 額
I 売上高	3,640,349
II 売上原価	3,344,892
売上総利益	295,456
III 販売費及び一般管理費	494,945
営業損失(△)	△199,488
IV 営業外利益	11,789
V 営業外費用	60
経常損失(△)	△187,759
VI 特別利益	5,467
VII 特別損失	2,520
税引前四半期純損失(△)	△184,812
税金費用	4,449
四半期純損失(△)	△189,261